

希望胸に新たな一歩

八戸学院大（水野眞佐夫学長）と同短期大学部（杉山幸子学長）は6日、八戸市公会堂で入学式を行った。参加した新入生が、これから始まる学生生活への期待に胸を膨らませた。

昨年度は新型コロナウイルスの影響で入学式を行わなかったため、2年ぶりの実施となった。参加者は新入生と教職員にとどめ、保護者や欠席した新入生向けにはライブ配信した。式典では、入学者の同大2学部3学科252人、同短期大学部2学科102人の名前を読み上げたほか、

八学大、八学短大 2年ぶり入学式

新入生を代表し、人間健康学科に入学する関口春香さん（19）は「八戸学院光星高出」が「勉強などに励み自分自身を鍛えていきたい。意義のある学校生活を送る」と宣誓。水野学長は「感染症の収束が見通せない中でも、光り輝く自分を見いだしてほしい」と新入生を鼓舞した。

在学生も歓迎のことばを述べ、同短期大学部介護福祉学科2年の松浦由依さん（19）は「夢の実現に向かって共に頑張っていきましょう」とエールを送った。

（金濱千優希）



新入生代表で、学生生活への決意を述べる関口春香さん